

コロナ対策において各団体に工夫したこと

- ・回収品目、実施日などの周知、子ども会役員の中でLINEを共有し、見やすいデザインのチラシを作成
- ・活動人員を減らして実施
- ・年3回を2回に変更
- ・大人のみ参加
- ・感染対策(マスク着用、密にならない等)をしながら開催する旨、チラシに記載
- ・地図を作成し、回収場所を区切り担当者を決めた
- ・参加者へのマスク着用、うがい手洗い消毒等アナウンスした(体調不良時は無理せず休むことも伝えた)
- ・代表の6年生親子のみで集めて行った(本来は全学年)
- ・回収物を車から降ろすとき密にならないよう指示をした
- ・保護者のみの参加とし、自宅で検温、マスク着用、軍手手袋等各自でお願いしている
- ・子供の手伝いは廃止(コロナ収束後再開)
- ・使い捨て手袋を一人一枚配布
- ・利用者・活動者の連絡先を把握、当日・発熱又は風邪の症状がある場合は活動をしない
- ・次年度への引継ぎの際は同じ車に乗らずに実施(ルート説明等)
- ・マスクは絶対、紙コップでの水分補給はなし
- ・感染リスクを考慮してアルミ缶の回収はしない。コンテナBOXの中に子供が入って仕分けをしていたが、密になるため投げ入れるようにした。
- ・自治会の提案で12月よりコンテナを常設した
- ・一定期間回収ボックスを設置し、自由に投入してもらうようにした
- ・ドライブスルー方式にして人との接触を減らした
- ・効率よく回収できるよう、回収ルートを考えて。前日までに全保護者に資源物回収のお知らせをメール配信している
- ・従来の地区ごとの回収をやめ、古紙のえき方式に変更し、拠点回収(ドライブスルー方式)に変更した
- ・回収場所での密な状態を生まないように、回収時間や人の流れ(動線)を工夫した
- ・回収時間を2時間半から1時間に短縮したが、1年間実施してみて大きな影響はなかった
- ・活動参加のお礼(お茶)を渡すのをやめている
- ・持込時でのマスク着用の徹底、長話への注意
- ・基本的に家庭から車を出してもらって世帯ごとに回収作業をするようにした
- ・一方通行の搬入経路を設置し、安全かつスムーズに搬入できるようにした